

都市再生整備計画(第1回変更)

めいえきしゅうへん
名駅周辺地区

あいち なごや
愛知県 名古屋市

令和8年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	愛知県	市町村名	名古屋市	地区名	名駅周辺地区	面積	310	ha
計画期間	令和7年度～令和11年度	交付期間	令和7年度～令和11年度					

目標
 ○魅力ある地域資源を活かした多彩なまちづくり、相互につなぐことで一体性のある、めぐりたくなるまちの形成
 ・城下町から超高層ビル群まで新旧織り交ぜた多様なまちの魅力を育て、活かす
 ・人が主役の歩いて楽しい空間を形成し、回遊性を高める

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 ・リニア中央新幹線の開業予定により、名古屋駅の拠点性や利便性がさらに高まる。名古屋駅周辺が名古屋大都市圏の玄関口として圏域を牽引しながら継続的に発展していくには、リニア駅の駅前にふさわしい空間の形成を進める必要がある。
 ・平成26年9月、本市は「名古屋駅周辺まちづくり構想」を策定し、名古屋駅周辺のまちづくりにおける、目標とするまちの姿やその実現に向けた取り組みについて明らかにした。その中で、都心における多彩な魅力をもったまちづくり、つないでいくことを基本方針の一つと位置付け、地区の特色を活かしたまちづくり、訪れた人が心地よさを感じる空間を形成することとしている。
 ・平成31年3月、「都心部まちづくりビジョン」を策定し、行政と民間で共有できる都心部の将来像として、各種まちづくり計画・構想を総括し、全体の方向性を提示した。その中で、回遊性の高い魅力ある歩行者空間の形成を図るため、快適性の高い歩行者空間の整備や緑化、魅力的な店舗の立地や滞留空間の形成等を行い、人々の賑わいを広げることとしている。
 ・名駅南地区においては、令和6年3月、「名駅南まちづくり方針」を策定し、リニア中央新幹線開業後を見据えた名駅南の将来像等を示した。その中で、賑わいあふれるウォーカブルなまちづくりを方針の一つと位置付け、地区の住民やワーカー、来訪者にとって、安心・安全な道路空間を確保するとともに、周辺の魅力的な地域と連携した交流の促進に向け、道路空間と公園空間と民地空間が一体となった賑わいあふれる歩行者空間や居心地の良い滞在空間を創出し、ウォーカブルな(居心地が良く、歩きたくなる)空間への転換を目指し、公民連携により取り組みを進めていくこととしている。

課題
 ・名古屋駅周辺には、多彩な地域資源が存在していることから、それぞれの地区の特色を活かしたまちづくりを進め、地区の魅力を高めることが求められる。
 ・駅とまち、まちとまちをつなぎ、回遊性を高めるため、歩行者空間を重視したまちづくりを進めるとともに、栄、名古屋城などとの連携を強化することが求められる。
 ・名駅南地区においては、建物用途は、事務所が過半数を占め、近年では共同住宅が増加傾向にある。物販・飲食店舗などの商業施設は、都心部平均より低い水準であるため、生活利便施設等の充実が必要な状況である。また、名駅南の道路率は都心部に比べ、高い水準にあり、安心・快適な道路空間を確保するとともに、沿道の低層階部分や駐車場等の低未利用土地などを活用した魅力の創出や、広い道路空間や公開空地等での賑わい創出が求められる。

将来ビジョン(中長期)
【名古屋駅周辺まちづくり構想(平成26年9月策定)】
 世界に冠たるスーパーターミナル・ナゴヤ ～国際レベルのターミナル駅を有する魅力と活力にあふれるまち～
 基本方針1 国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す
 基本方針2 誰にも使いやすい国際レベルのターミナル駅をつくる
 基本方針3 都心における多彩な魅力をもったまちづくり、つないでいく
 基本方針4 リニア開業を見据え、行政と民間が一丸となって着実に構想を実現する

【都心部まちづくりビジョン(平成31年3月策定)】
 名古屋駅地区 未来を体感し創造する交流のターミナル
 スーパーメガリージョンの中心にふさわしい多様な人材の交流を促進し、日本を支える新たな価値を生み出す、国際的・広域的な拠点・顔を形成します。
 魅力ある地域資源を活かした多彩なまちづくり、相互につなぐことで、一体性のある、めぐりたくなるまちを形成します。

【名古屋市都市計画マスタープラン2030(令和2年6月策定)】
 都心部 リニアインパクトを最大化し、世界に冠たる「NAGOYA」の象徴たる都市空間を形成します。
 方針1 国際競争力の強化と民間投資を誘発する環境整備
 方針2 訪れたいくなるワクワク感のあるまちを実現する都市魅力の向上
 方針3 都会性とゆとりが両立した名古屋ライフスタイルの実現

一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォーカブル推進事業の計画
 滞在快適性等向上区域の考え方
 名駅南まちづくり方針(令和6年3月策定)の対象範囲を目安に滞在快適性等向上区域を設定し、賑わいあふれるウォーカブルなまちを目指す。

滞在快適性等向上区域での取組
 歩行者空間の拡充・改善や、道路空間・公園空間・民地空間(公開空地・低未利用土地)の活用等を行う。
 (マルシェ・キッチンカー・オープンカフェ・パークレット・ベンチ・ゲートサイン・シェアサイクルポート等の設置)

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
主要交差点の歩行者交通量	百人/日	名駅南地区内の主要交差点での1日当たりの歩行者交通量(平日15時間調査)	名駅南地区の回遊性が高まることで、歩行者交通量が増加する	89	令和5年度	93	令和11年度
公共空間等を活用した催事の箇所数	箇所・日	滞在快適性等向上区域内での公共空間等を活用した催事の箇所数(各日合計値)	公共空間等を活用した催事が、人が主役の歩いて楽しい空間の形成に資する	9	令和5年度	20	令和11年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・多様な地域資源の魅力高め、多様で特色あるまちを形成する ・地域のまちづくり活動への支援と協働により、エリアマネジメントの促進を図る ・回遊性と快適性の高い歩行者空間の形成を図る ・本市が策定する「名古屋市交通戦略2030」に基づき、公共交通の施策と連携したまちづくりを推進 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高質空間形成施設(緑化施設等) ○滞在環境整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・社会実験 <p>【協定制度等】都市公園占用許可特例、都市利便増進協定の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩施設(SDGsまちづくり推進に資する植栽と一体となったベンチ)の管理運営 ・シェアサイクルポート(自転車駐車場、社会実験)の管理運営 ・人工芝、ベンチ、キッチンカー、ハンギングバスケット、プランター型ベンチ等の管理運営
<p>その他</p>	
<p>【その他官民協働の取り組み事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 名駅南地区にて道路利活用の社会実験実施 ・令和6年度 名駅南地区にて道路利活用の社会実験実施 <p>【名駅南まちづくり方針(令和6年3月策定)】</p> <p>将来像まちづくりのコンセプト つくってつながり、つながってつくる。「創造・交流タウン名駅南」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの方針1 賑わいがあるウォーカブルなまちづくり ・まちづくりの方針2 公民の投資により再生するまちづくり ・まちづくりの方針3 新たな体験を誘発し様々な挑戦を支えるクリエイティブなまちづくり ・まちづくりの方針4 地域力で地域を育てるまちづくり 	

制度別詳細1(道路占用に関する事項)法第46条第10項

制度別詳細【道路占用許可基準の特例】			
制度の活用計画			
占用対象施設		占用の場所	道路交通環境の維持 及び向上を図るための措置
道路 占用 許可 特例 対象 施設			
【参考】 通常の 道路 占用 許可 対象 施設	1	休憩施設(SDGsまちづくり推進に資する植栽と一体となったベンチ) 市道 下笹島町線 (名古屋市中村区名駅南二丁目 歩道部)	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩施設及び周辺区域内の清掃、美化活動の実施 ・休憩施設周辺区域内の異常発見時の報告

制度別詳細3(都市公園の占用に関する事項) 法第46条第12項

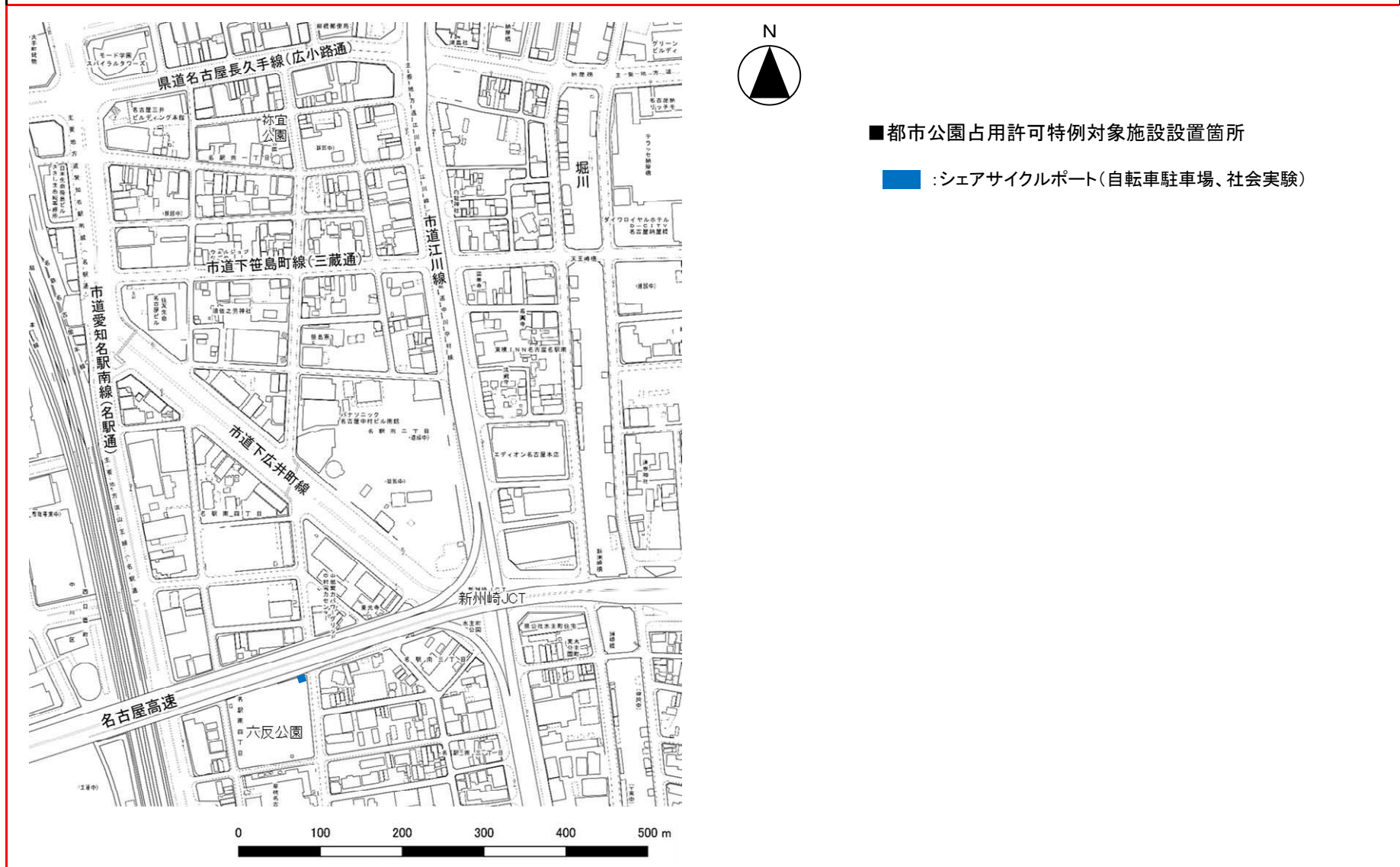
制度別詳細【都市公園占用許可の特例】			
制度の活用計画			
占用対象施設		占用の場所	都市公園の環境の維持 及び向上を図るための措置
都市公園 占用許可 特例対象 施設	1	シェアサイクルポート(自転車駐 車場、社会実験)	六反公園(名古屋市中村区名駅南四丁目)

- ・シェアサイクルポート内及び周辺区域内の清掃、美化活動の実施
- ・シェアサイクルポート周辺区域内の異常発見時の報告
- ・シェアサイクルポート周辺区域内の放置自転車に関する啓発活動の実施

制度別詳細3-1(都市公園の占用に関する事項)法第46条第12項
事業番号1

制度別詳細【都市公園占用許可の特例】

制度を活用して整備・設置する施設等の配置を示す地図



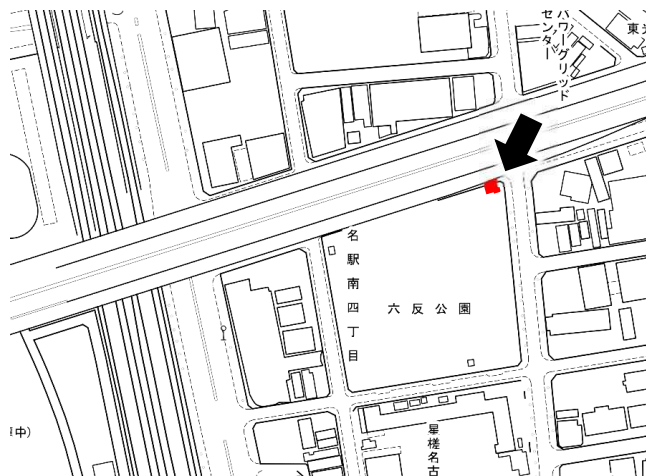
制度別詳細3-2-①(都市公園の占用に関する事項)法第46条第12項 事業番号1

制度別詳細【都市公園占用許可の特例】

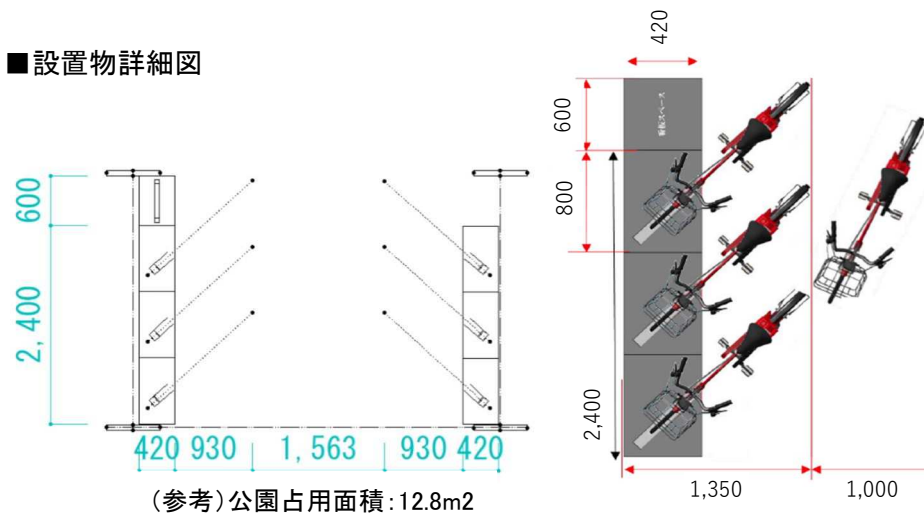
制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

シェアサイクルポート(自転車駐車場、社会実験)(六反公園)

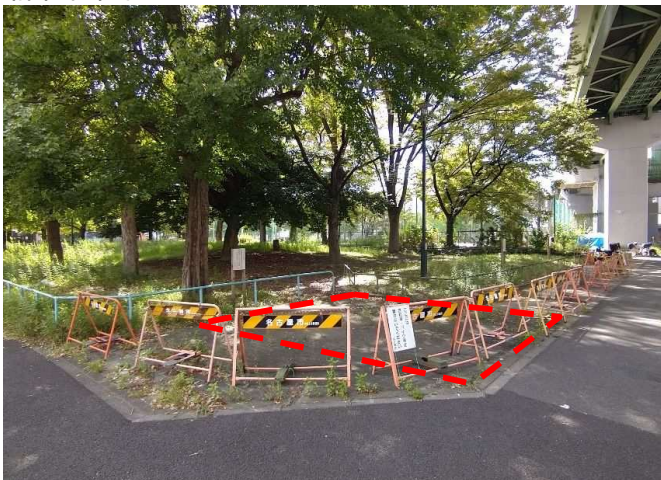
■位置図 公園名:六反公園(名古屋市中村区名駅南四丁目)



■設置物詳細図



■詳細位置図



■設置イメージ(名古屋市内の他事例)



制度別詳細4(都市利便増進協定に関する事項)法第46条第25項




制度別詳細【都市利便増進協定】			
			制度の活用計画
事業内容	事業期間	取り組み主体	活用する制度の詳細
1	休憩施設(SDGsまちづくり推進に資する植栽と一体となったベンチ)の管理運営	R8~R11 一般社団法人名駅南エリアマネジメント (都市再生推進法人)	1. 協定締結者 一般社団法人名駅南エリアマネジメント(都市再生推進法人)、道路管理者、公園管理者 2. 都市利便増進施設の一体的な整備又は管理が必要と認められる区域(都市利便増進協定を想定している区域)制度別詳細4-1に示す範囲 3. 協定の内容 (1)協定の目的となる都市利便増進施設 ・休憩施設(SDGsまちづくり推進に資する植栽と一体となったベンチ) ・シェアサイクルポート(自転車駐車場、社会実験) ・人工芝、ベンチ、キッチンカー、ハンギングバスケット、プランター型ベンチ等 (2)費用負担 ・一般社団法人名駅南エリアマネジメントの費用負担により整備 (3)都市利便増進施設の整備・管理の方法 ・都市利便増進施設の巡回・清掃・点検及び周辺区域内の清掃、美化活動、異常発見時の報告の実施 ・シェアサイクルポート周辺区域内の放置自転車に関する啓発活動の実施
2	シェアサイクルポート(自転車駐車場、社会実験)の管理運営	R8~R9 一般社団法人名駅南エリアマネジメント (都市再生推進法人)	
3	人工芝、ベンチ、キッチンカー、ハンギングバスケット、プランター型ベンチ等の管理運営	R8~R11 一般社団法人名駅南エリアマネジメント (都市再生推進法人)	

制度別詳細4-1(都市利便増進協定に関する事項)法第46条第25項
事業番号1, 2, 3

制度別詳細【都市利便増進協定】

制度を活用して整備・設置する予定の施設等配置を示す地図及び設置イメージ



-  : 休憩施設(SDGsまちづくり推進に資する植栽と一体となったベンチ)
-  : シェアサイクルポート(自転車駐車場、社会実験)
-  : 人工芝、ベンチ、キッチンカー、ハンギングバスケット、プランター型ベンチ等

制度別詳細4-2(都市利便増進協定に関する事項)法第46条第25項
 事業番号1

制度別詳細【都市利便増進協定】

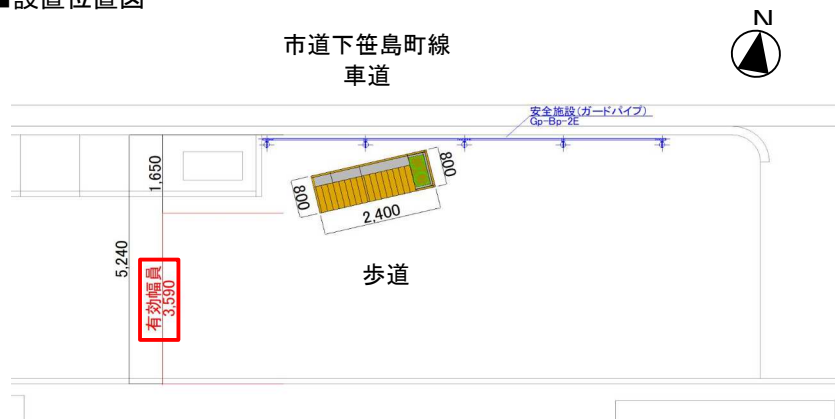
制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

休憩施設(SDGsまちづくり推進に資する植栽と一体となったベンチ)

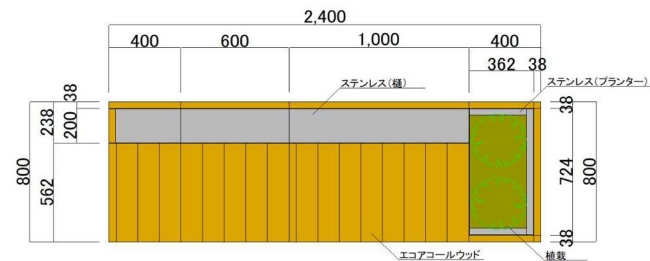
○主なねらい

- ・歩行者空間を活用し、ウォーカブルな道路空間の形成を図る。

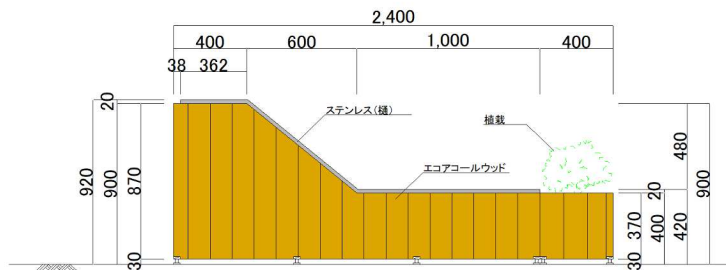
■設置位置図



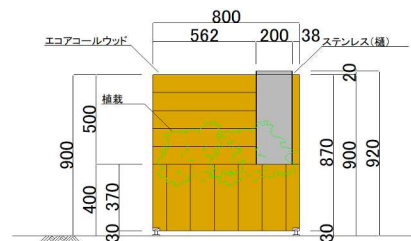
平面図



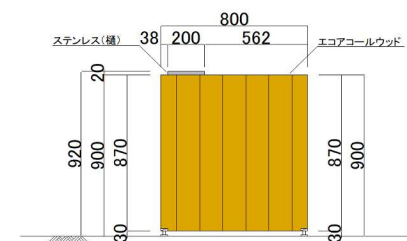
側面図



正面図



背面図



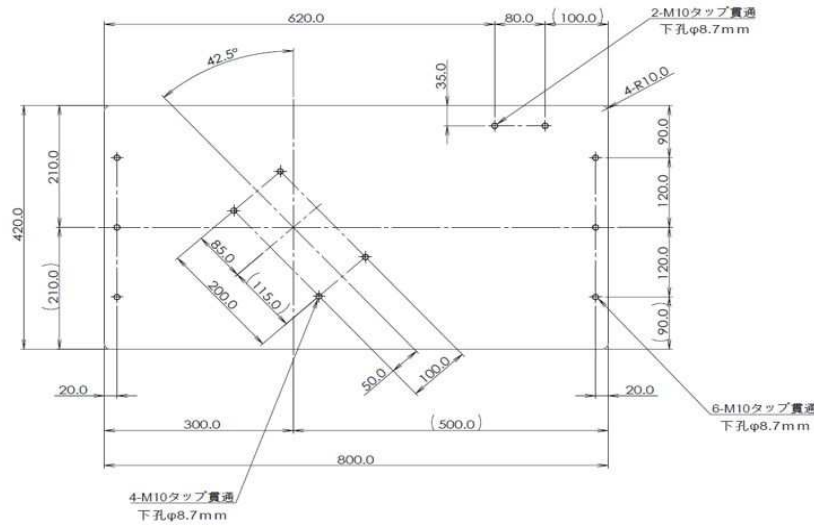
制度別詳細4-2(都市利便増進協定に関する事項)法第46条第25項
事業番号2

制度別詳細【都市利便増進協定】

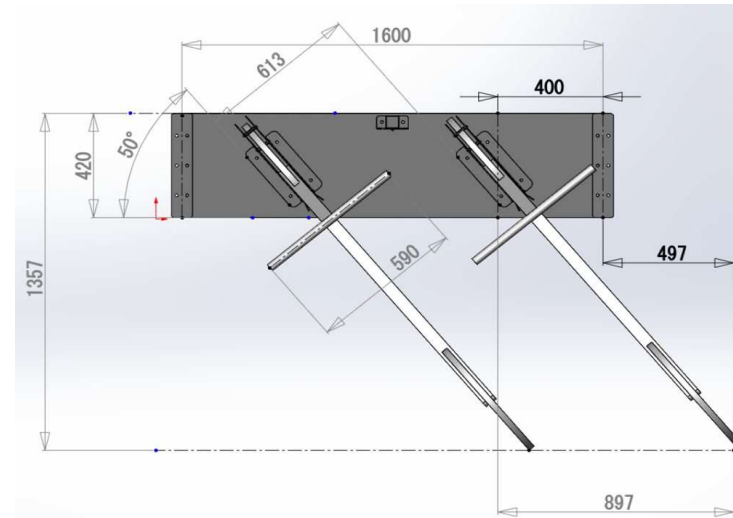
制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

シェアサイクルポート(自転車駐車場、社会実験)

■ベースポート詳細図



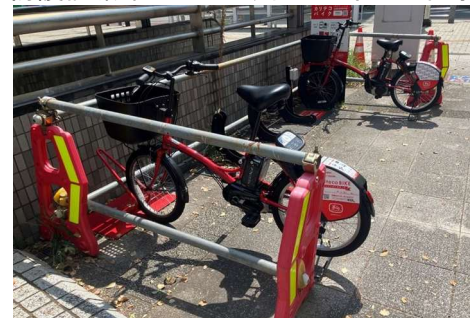
■ラック詳細図



■設置看板詳細図(盘面)



■防護柵(設置イメージ、名古屋市内の他事例)



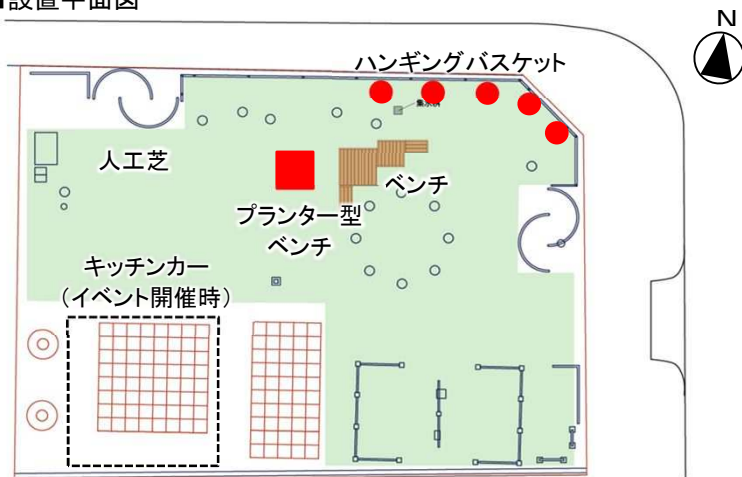
制度別詳細4-2(都市利便増進協定に関する事項)法第46条第25項
事業番号3

制度別詳細【都市利便増進協定】

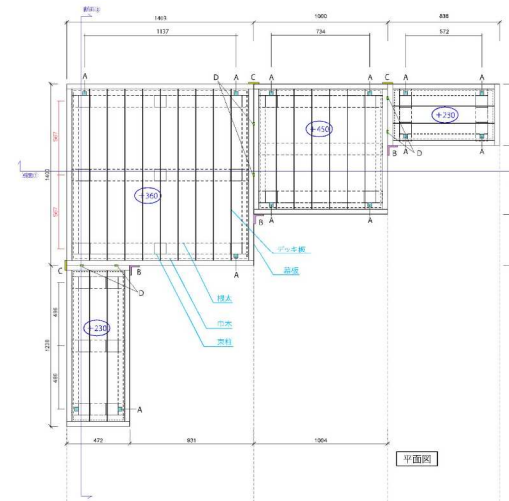
制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

人工芝、ベンチ、キッチンカー、ハンギングバスケット、プランター型ベンチ等

■設置平面図



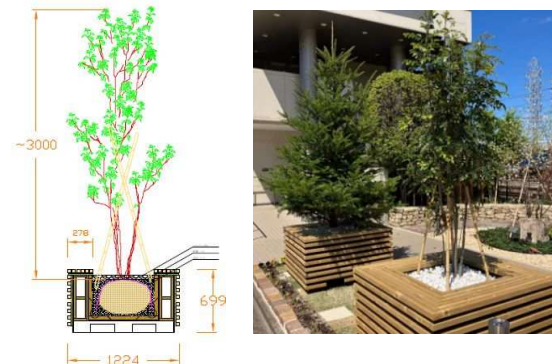
■ベンチ詳細平面図



■人工芝、ベンチ、ハンギングバスケット設置状況 (R7年10月撮影)



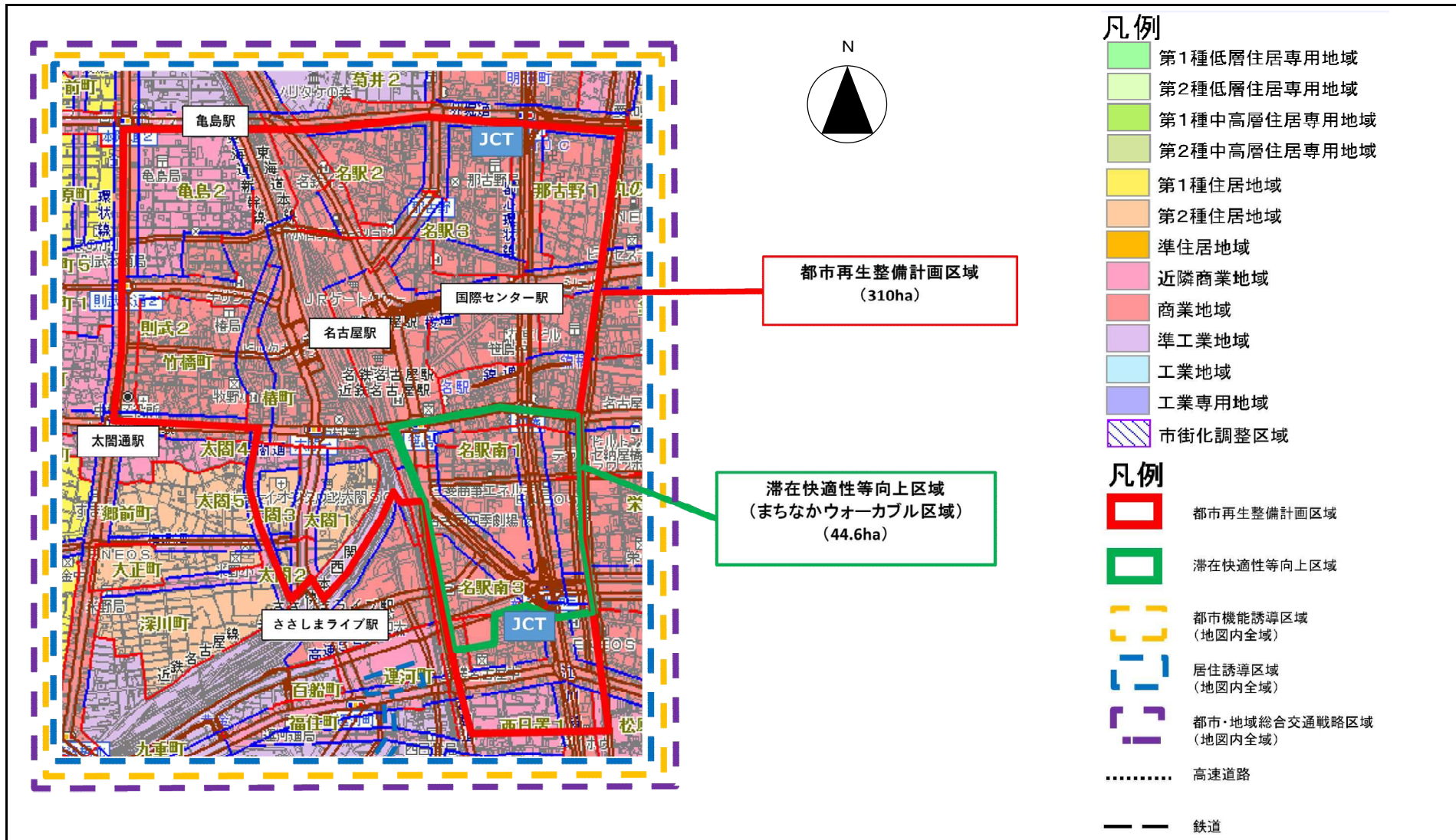
■プランター型ベンチ設置イメージ



制度別詳細9(滞在快適性等向上区域内における都市公園の公園施設設置管理許可の特例)法第46条第14項第2号イ

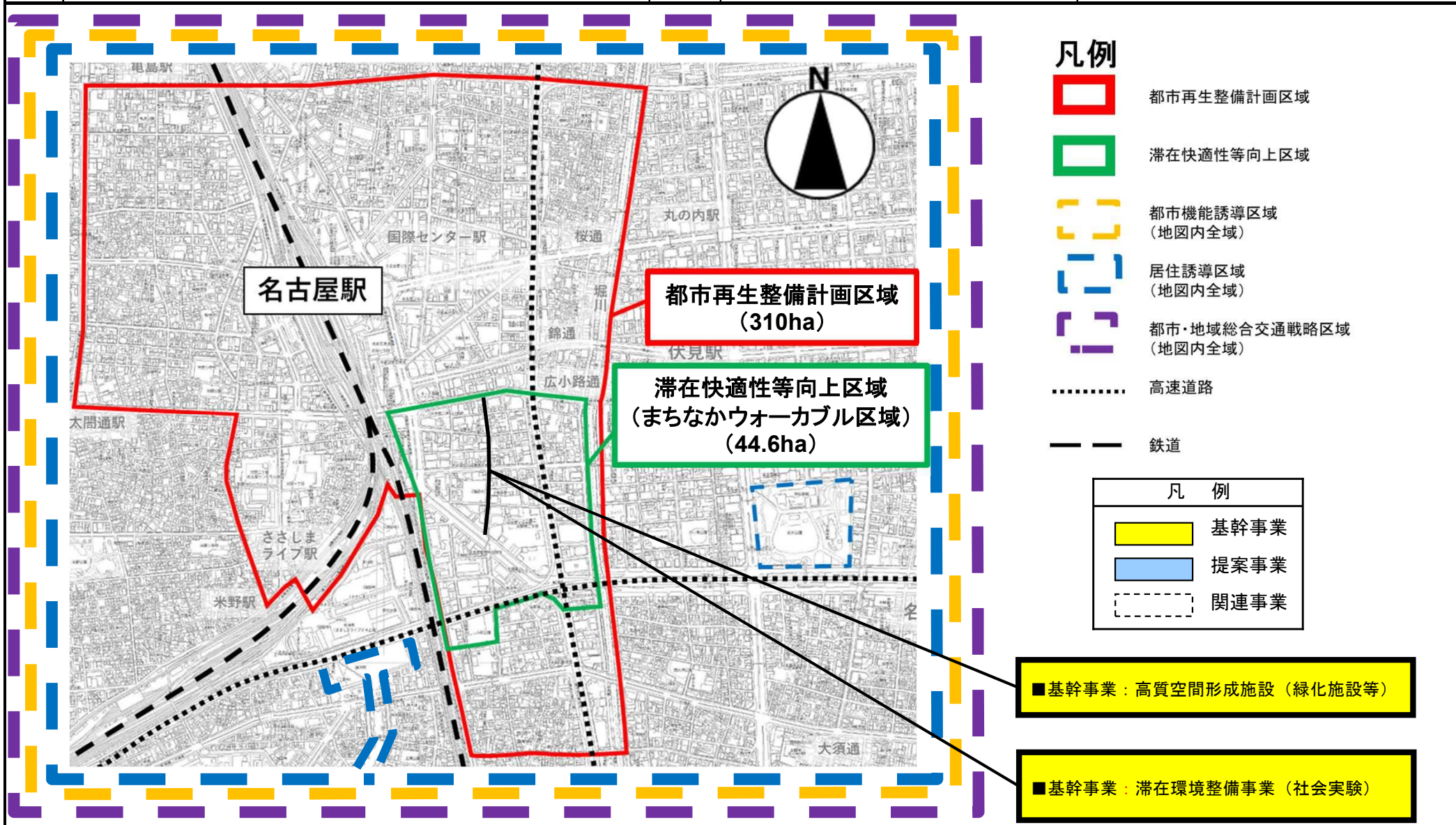
制度別詳細【滞在快適性等向上区域内における都市公園の公園施設設置管理許可の特例】			
制度の活用計画			
許可対象施設		設置・管理の場所	設置・管理主体
公園施設設置管理許可特例対象施設			
【参考】通常の公園施設設置管理許可対象施設	1 人工芝、ベンチ、キッチンカー、ハンギングバスケット、プランター型ベンチ等	祢宜公園(名古屋市中村区名駅南一丁目)	一般社団法人名駅南エリアマネジメント(都市再生推進法人)

名駅周辺地区(愛知県名古屋市)	面積	310(44.6) ha	区域	名古屋市西区・中村区・中川区の一部
-----------------	----	--------------	----	-------------------



名駅周辺地区(愛知県名古屋市) 整備方針概要図(まちなかウォーカブル推進事業)

目標	○魅力ある地域資源を活かした多彩なまちをつくり、相互につながぐことで一体性のある、めぐりたくなるまちの形成 ・城下町から超高層ビル群まで新旧織り交ぜた多様なまちの魅力を育て、活かす ・人が主役の歩いて楽しい空間を形成し、回遊性を高める	代表的な指標	主要交差点の歩行者交通量 (百人/日)	89 (R5年度)	→	93 (R11年度)
			公共空間等を活用した催事の箇所数 (箇所・日)	9 (R5年度)	→	20 (R11年度)



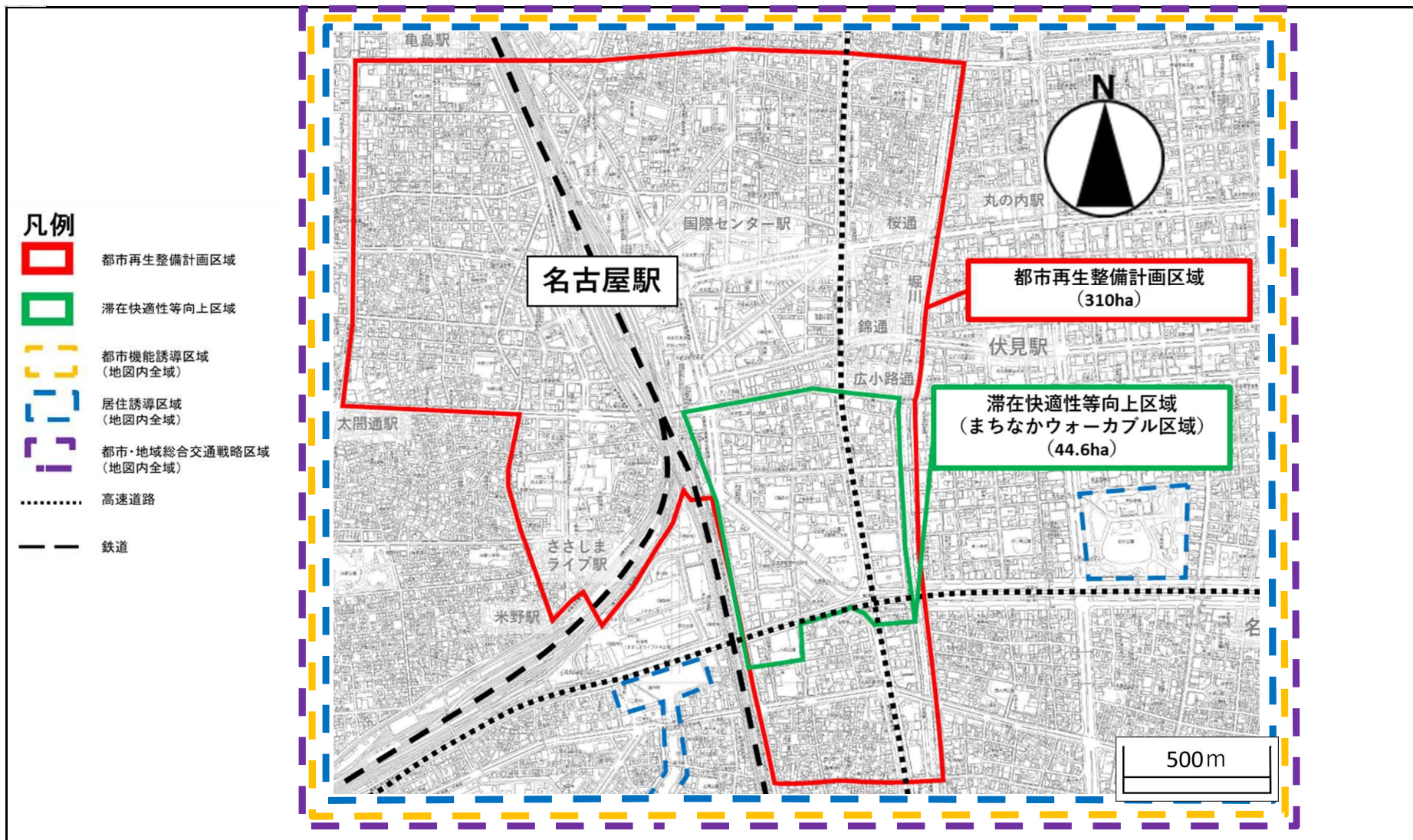
都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

めいえき しゅうへん ちく
名 駅 周 辺 地 区 (あいち けん なごや し)
（ 愛 知 県 名 古 屋 市 ）

活用する事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市構造再編集集中支援事業(大規模災害復興法に規定する特定大規模災害等を受けて復興計画等を作成および立地適正化計画作成見込み)	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	
コンパクトシティ支援型	<input type="checkbox"/>
観光等地域資源活用支援型	<input type="checkbox"/>
地域生活拠点支援型	<input type="checkbox"/>
産業促進区域支援型	<input type="checkbox"/>
経過措置	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	
防災拠点・コンパクトシティ支援型	<input type="checkbox"/>
防災拠点・郊外支援型1	<input type="checkbox"/>
防災拠点・郊外支援型2	<input type="checkbox"/>
経過措置	<input type="checkbox"/>
まちなかウォーカーブル推進事業	
コンパクトシティ支援型	<input checked="" type="checkbox"/>
観光等地域資源活用支援型	<input type="checkbox"/>
地域生活拠点支援型	<input type="checkbox"/>

名駅周辺地区(愛知県名古屋市) 現況図



交付限度額算定表(その1)

：駅周辺地区（愛知県名古屋株式会社）-③

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	42.5 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	1,177,903.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	42.5 百万円
-----------------------------	----------	-----------------------	-----------------	----------------------	----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	1,240,000
-----------	-----------

公共施設の上限整備水準

区域面積(㎡)	3,100,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	○
区域の面積が10ha未満の地区	0.50
最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
その他の地域	0.40

Ci	3,957,652
-----------	-----------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	23
公示価格の平均値(円/㎡)	3,957,652

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/㎡)	
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000
-----------	--------

控除額	195,782
------------	---------

都市再生整備計画関連事業とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(㎡)	国庫補助事業費等(百万円)
名古屋駅東側、名古屋駅西側駅前広場	12000	7837
名古屋駅西側駅前広場	16200	103901
名古屋駅東側駅前広場	12500	42117
東西ネットワークの強化		21650
名古屋駅周辺地下公共空間		13231
都市計画道路 笹島線(東)	6000	7046
合計	46700	195782

	599002
--	--------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定

推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(㎡)	0

個別公共施設の積み上げ	
--------------------	--

	面積(㎡)	割合
道路	577,486	0.19
公園	21,516	0.01
広場	0	0
緑地	0	0
公共施設合計	599,002	0.19

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	1177903 百万円
-----------------------------	-------------

	0
--	---

下水道

区域面積(㎡)	3,100,000
うち現況の供用済み区域面積(㎡)	
標準整備費(円/㎡)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
----------------------------	-----

上限床面積(㎡)	9,400
標準整備費(円/㎡)	4,337,652

調整池	0 円
------------	-----

調整池の容積(㎥)	
標準整備費(円/㎥)	140,000

河川	0 円
-----------	-----

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
-------------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0

標準整備費(円/戸)	超高層	一般
------------	-----	----

	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
-------------------------	-----

施設建築物の延べ面積(㎡)	
標準共同施設整備費(円/㎡)	132,000

電線共同溝等	0 円
---------------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
-------------	-----

人工地盤の延べ面積(㎡)	
標準整備費(円/㎡)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
-------------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	1177903 百万円
----------------------------	-------------

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集中支援事業>

交付限度額(X1)	百万円
-----------	-----

<都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)>

交付限度額(X2)	百万円
-----------	-----

<都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)>

交付限度額(X3)	百万円
-----------	-----

<まちなかウォーカーブル推進事業>

交付限度額(X4)	42.5 百万円
-----------	----------

交付限度額算定表(その2)(まちなかウォーカーカブル推進事業)

名駅周辺地区 (愛知県名古屋市)

様式(2)-④-4

社会資本整備総合交付金交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	85.000	A (事業費)	1)式で求まる額(5/10*(A+B))	42.500	①(国費)
	提案事業合計(B)		B (事業費)	2)式で求まる額(5/8*A)	53.125	②(国費)
	合計(A+B)	85.000	(事業費)	上記①、②の小さい方	42.500	③(国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.000		国費率(③÷(A+B))	0.500	④(国費率)

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	85.0	(事業費)	社会資本整備総合交付金交付要綱に掲げる式による交付限度額(⑩を1万円の位を切り捨て)	42.5	⑩(国費)
			国費率	0.500	⑪(国費率)

年次計画(まちなかウォークラブル推進事業)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
細項目									
道路									
公園									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設	緑化施設等	名駅南地区歩道空間	名古屋市	62.0	0.0	0.0	12.0	50.0	
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
街なみ環境整備事業									
エリア価値向上整備事業									
こどもまんなかまちづくり事業									
暑熱対策事業									
滞在環境整備事業	滞在環境整備に関する調査等	名駅南地区歩道空間	名古屋市	23.0	8.0	15.0			
社会実験									
計画策定支援事業									
計				85.0	8.0	0.0	15.0	12.0	50.0

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
細項目									
地域創造 支援事業									
事業活用 調査									
まちづくり活動 推進事業									
計				0	0	0	0	0	0
合計				85	8	0	15	12	50
累計進捗率 (%)					9.4%	9.4%	27.1%	41.2%	100.0%

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
細項目									
合計				0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)					#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

事業		事業箇所名	事業主体	全体 事業費	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
細項目									
合計				0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)					#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	規模 (箇所数、延長等)	概要 (整備内容等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
						設計費	用地費・補償費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニメント、給電・給排水施設、土塁、堀跡等)	名駅南地区歩道空間	名古屋市	歩道幅(約240m)	歩道幅(4m→7m) カラー舗装	62	12		50	
電線類地下埋設施設									
電柱電線類移設									
地域冷暖房施設							—	—	
歩行支援施設、障害者誘導施設等									
公共公益施設と一体的に整備する情報化基盤施設									
合計	—	—	—		62	12	0	50	

・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)

・「電線類地下埋設施設」は、備考欄に地中化の方式(自治体管路等)を記入。

・「緑化施設等」及び「電線類地下埋設」について、道路区域内で整備する場合は、備考欄に道路の都市計画決定の有無、道路の改築を伴うか否かを記入。

・「緑化施設等」について、施設名欄、概要欄に整備内容を具体的に記入。

・「電柱電線類移設」を実施する場合には、歴史的風致維持向上計画の当該事業が記載されている箇所及び都市再生整備計画の区域と歴史的風致維持向上計画の重点区域が重複する部分が、いずれかの区域の概ね3分の2以上であることがわかる図面を添付してください。

・「緑化施設等」の土塁・堀跡について、次の3点がわかる内容の記入や資料の添付してください。

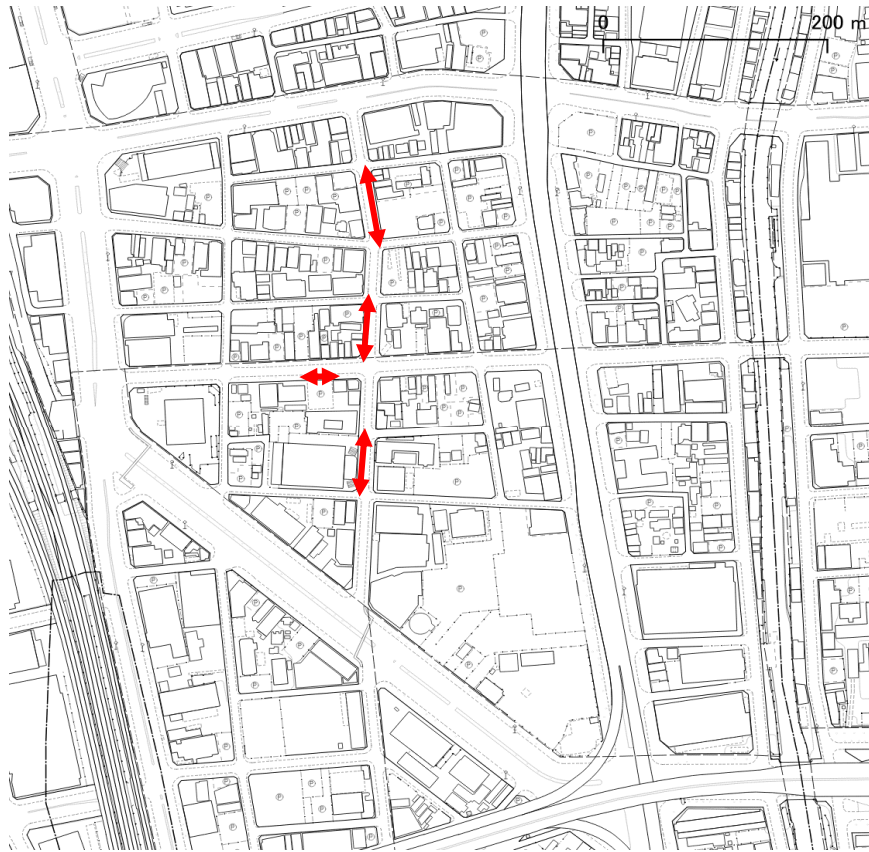
①文化財保護法第109条第1項の規定に基づく指定を受けた史跡でないこと。

②歴史まちづくり法第5条第8項の規定に基づく認定を受けた歴史的風致維持向上計画に位置付けられていること

③都市再生整備計画の区域と歴史的風致維持向上計画の重点区域の区域が重複する部分が、いずれかの区域の概ね2/3以上であること

基幹事業 高質空間形成施設（緑化施設等）

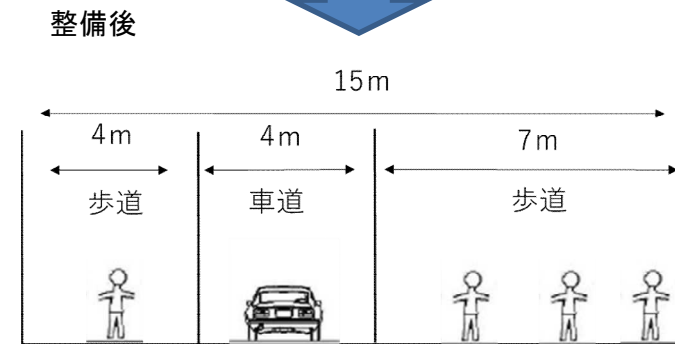
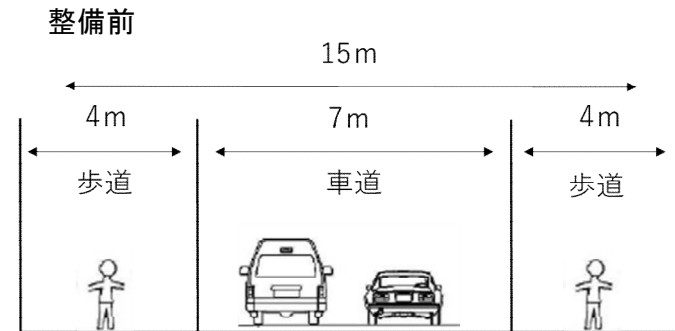
【名駅南地区道路空間 整備平面図】



↔ : R10-R11 予定箇所

(整備概要)
歩道拡幅 (4.0→7.0m)
延長 240m
カラー舗装 (ILB)

○ 横断面



滞在環境整備事業

単位:百万円

項目	施設名／調査内容	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費・補償費	施設整備費	
滞在環境の向上に資する環境整備(トイレ、倉庫、トランジットモール化に必要な施設等)								
滞在環境整備に関する調査等(社会実験、コーディネート等)	名駅南地区歩道空間	名古屋市	歩道空間の再整備に向けた社会実験	23	8		15	
滞行者等の滞在及び交流を促進することを目的とした施設								
合計	—	—	—	23	8	0	15	

基幹事業 滞在環境整備事業（社会実験）

【名駅南地区道路空間 平面図】



（社会実験の狙い）
名駅通の将来像を想定した歩道空間拡幅実験を実施し、道路整備の具体的なイメージを固める。

（事業費）
1500万円（予定）

↔ : R7-R9社会実験実施エリア予定箇所